

“時事英語—アフリカと日本の絆”通信

NO. 8

2020年8月1日発行

NPO 法人 時事英語—アフリカ
と日本の絆(CCAJ)

<http://jijieigo-ccaj.or.jp/>

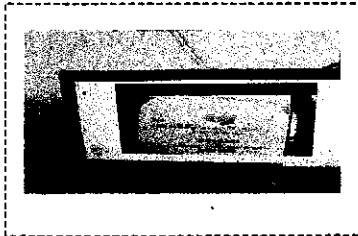
☎ 042-531-1887(代)

* コロナが開いたオンライン外交 (旧友ベンジャミンさんとの再会)

* コロナの中でも続いたアフリカ留学生との交流:

* 国連大のオンライン修了式から

1: コロナの影響 今年は、コロナで、メイン企画の武内進一教授の公開講座が延期になり、すわっ祭がキャンセルになりましたので、写真でのレポートになりました。右上が外大の留学生、他が、国連大の方達です。



今、会員一同次回へ向けて、力を蓄えております。2: ヤウ博士の盟友、ベンジャミンさんとの再会このような時にオンラインで再開を果たしたのが、ベンジャミンさんです。ご存知のよう

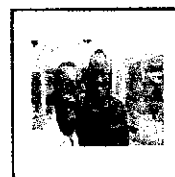
に、このお二人が、私達がアフリカと出会った運命の人物なのです。ベンジャミンさんも、カナダの大学で博士号を、もう2年前に取られたそうです。さらにもう一人、7年前に会で何度も交流パーティ

ーを楽しんだ、ジョセフさんがいます。今彼は、故郷のケニアで、新婚生活を楽しんでいるそうです。CCAJのオンライン学習会に参加して下さるよう声をかけようと思っております。彼らは皆国連大学修士課程卒業の方です。3: オクタブさんとヘレンさんは今年の東京外大の留学生です!! 去年本当に楽しくCCAJの企画に参加して下さった、シュクルさんと、ロドリグさんの2代目です。オクタブさんはルワンダ、ヘレンさんは、コンゴ共和国のご出身で

す。お二人の夢は、オクタブさんが、「将来日本に戻って、サステナビリティ(持続可能な社会めざす学問)を学ぶこと」、ヘレンさんが、

「今、戦火に苦しむ母国の平和の為に尽くすこと」だそうです。コロナで、殆ど外出できなく不自由をせまられて、本当に大変でしたが、

ちゃんと心が通じて、嬉しい思い出は残っています。しっかり未来に目を向けて、別れの挨拶をすることができました。4: ヤオさんと、ベン



ジャミンさんの近況と彼らの恩師武内和彦東大教授の写真5: 国

連大学のオンライン修了式典への参加 毎年2回参加している国連大学の重要行事、入学式と修了式の話です。今年は、オンラインで参加しました。創立47年の国連大(渋谷)にとっても、初体験なので、皆さんの緊張感が見ている私達にも伝わってきました。でも、倍率何百倍という難関をくぐって入学した生徒さん達にも関わらず、大変楽しく温かい雰囲気がよくでていました。このような行事に参加するのは、優れた国際感覚を身近で身に着けることができる、大変貴重な方法だと思います。いつもゲストスピーカーの祝辞(講座)が大変魅力的なのですが、今回は、環境問題専門のプロの投資家、KOJIMA MITSUO さんのお話でした。元ゴールドマンサックスの重役で、現在、スイスの銀行で、アル・ゴア(元米副大統領)とお仕事をしにらっしゃるということでした。主なメッセージは、SDGs (Sustainability・Development・Goalで、国連が出した環境問題の達成目標) 関係の株が、利益を出し始め、個人・会社・政府等、多くの国々が関心を持ってきたという事を、具体的な数字で示し、その貢献と可能性を雄弁に伝えていられました。詳しくはホームページに和英両方でのっていますから、ぜひ読んで下さい。